



平成 23 年 3 月 11 日

各 位

会社名 石原薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹森莞爾
(コード番号：4462、東証・大証各第二部)
問合せ先 常務取締役 浅野真司
(TEL. 078-681-4801)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 23 年 3 月 11 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりの添付資料は平成 23 年 1 月 28 日に公表済みの資料です。) であります。

【通期・単体】

(単位：百万円、%)

	平成 23 年 3 月期 (予想)			平成 23 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 22 年 3 月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	14,170	100.0	10.5	10,753	100.0	12,823	100.0
営業利益	910	6.4	56.1	748	7.0	583	4.5
経常利益	950	6.7	50.4	775	7.2	631	4.9
当期(四半期)純利益	460	3.2	△23.9	216	2.0	604	4.7
1株当たり 当期(四半期)純利益	65円95銭			31円26銭		87円10銭	
1株当たり 配当金 (期末)	35円00銭			—		30円00銭	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成していません。
2. 平成 22 年 3 月期及び平成 23 年 3 月期第 3 四半期累計期間の 1 株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 平成 23 年 3 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数 6,974,686 株により算出しております。
4. 平成 23 年 3 月期(予想)の 1 株当たり配当金(期末)には、上場記念配当金 5 円 00 銭が含まれております。

以 上



平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 石原薬品株式会社

コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹森 莞爾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 浅野 真司

TEL 078-681-4801

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	10,753	11.6	748	88.2	775	78.0	216	10.4
22年3月期第3四半期	9,632	14.2	397	32.7	435	31.2	242	645.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第3四半期	31.26	
22年3月期第3四半期	34.90	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第3四半期	16,727	12,575	75.2	1,812.98
22年3月期	16,012	12,536	78.3	1,807.39

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,575百万円 22年3月期 12,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期		15.00		15.00	30.00
23年3月期		15.00			
23年3月期(予想)				15.00	30.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,170	10.5	910	56.1	950	50.4	460	23.9	66.32

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、[添付資料]P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	7,460,440株	22年3月期	7,460,440株
期末自己株式数	23年3月期3Q	524,091株	22年3月期	524,052株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	6,936,353株	22年3月期3Q	6,936,474株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、エコカー補助金・エコポイントなどの国内の消費刺激策を背景に緩やかな回復基調で推移していましたが、国内政策効果の一巡もあり個人消費も弱含み、また海外経済の減速感の台頭、急速な円高の進行による輸出の鈍化など景気回復は減速気味となってまいりました。このような状況下にあつて、売上高は10,753百万円(前年同四半期比11.6%増)、営業利益は748百万円(前年同四半期比88.2%増)、経常利益は775百万円(前年同四半期比78.0%増)となりましたが、投資有価証券評価損及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の計上により、四半期純利益は216百万円(前年同四半期比10.4%減)となりました。

セグメント別の売上高及び概要は、次のとおりであります。

(セグメント別の売上高)

(百万円未満切捨表示)

区分	セグメントの名称	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減	平成22年3月期
製品	金属表面処理剤及び機器等	3,010	3,378	368	4,072
	電子材料	169	258	88	248
	電子関連分野計	3,180	3,637	456	4,320
	自動車用品分野	754	823	68	977
	工業薬品分野	131	167	36	188
	製品合計	4,066	4,628	562	5,486
商品	金属表面処理剤及び機器等	1,008	1,636	627	1,366
	電子材料	1,133	994	139	1,440
	電子関連分野計	2,142	2,630	488	2,806
	自動車用品分野	387	394	6	508
	工業薬品分野	3,035	3,099	63	4,021
	商品合計	5,565	6,124	558	7,337
総計		9,632	10,753	1,120	12,823

(セグメント別の業績の概要)

(電子関連分野)

電子関連分野が対応する電子部品業界は、薄型テレビ、パソコン、携帯電話などのアジア市場向けデジタル機器需要が伸び電子部品の拡大が続きましたが欧米や日本の景気先行きの不透明感が強まる中、電子部品・デバイス関連の在庫増に伴い、足元では生産調整局面に入りました。

金属表面処理剤及び機器等

電子関連分野のこのような状況下、めっき液の需要は第3四半期に入りやや弱含みで推移しましたが、半導体パッケージのリードレス化が加速する中で対応するバンプめっき液は、国内・海外とも好調に推移しました。一方、化成処理液自動管理装置及び試薬は、景気回復によりプリント基板関連、液晶関連とも設備投資が活発化し装置の受注が伸び、また、ユーザーでの増産に伴い試薬需要の回復もあり、販売は好調に推移しました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、5,015百万円(前年同四半期比24.8%増)となりました。

電子材料

電子材料のニッケル超微粉は、需要先のセラミックコンデンサの生産減による影響と競合参入による納入数量減、単価下落により低迷しました。機能材料加工品は、対応する半導体製造業界の生産が活発化し、また、液晶製造装置業界も順調に回復し機能材料の部品需要が伸びました。この結果、電子材料の売上高は、1,252百万円(前年同四半期比3.9%減)となり、電子関連分野全体の売上高は、6,268百万円(前年同四半期比17.8%増)となりました。

(自動車用品分野)

自動車用品分野が対応するカーアフターマーケットは、軽微なスリキズの補修をしない傾向やガソリンスタンドの統廃合によるスタンドの減少等により自動車用ケミカルの使用量減などで市場規模の縮小が続きました。このような状況下、エアコンフィルター交換時にエアコン洗浄を同時施工する提案、促進を積極的に行った結果、エアコン洗浄剤の需要が伸びました。また、溶接用薬品は回復基調で推移し、自動車用品分野の売上高は、1,217百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

(工業薬品分野)

工業薬品分野が対応する鉄鋼業界は、国内建設需要の低迷が続く中、中国・アジア諸国向け高級鋼材輸出が堅調に推移し、国内での新車販売台数の伸びやエアコンの販売の伸びなどにより鋼材需要が伸びました。これらを受け鋼板用一般薬剤、特殊薬剤の需要が伸びました。また、産廃処理場向け薬剤等環境関連薬剤も受注が増え工業薬品分野の売上高は、3,267百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。

(2) 業績予想に関する定性的情報

円高進行、政策効果の一巡、新興国の成長鈍化で生産・輸出の回復の遅れなどから日本経済が足踏み状態にあるといわれており、為替やユーザーの生産動向など先行き不透明な部分が見られます。このような状況下、第3四半期までの各事業分野の実績及び今後の需要動向、販売品目構成等の変動を見通した結果、平成23年3月期の通期業績予想は、前回予想値を若干下回る見込みとなりましたので修正しております。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の税引前四半期純利益は38,512千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は38,512千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,658,593	3,747,322
受取手形及び売掛金	3,769,256	3,524,302
有価証券	170,475	672,680
商品及び製品	548,514	455,466
仕掛品	54,471	28,426
原材料及び貯蔵品	411,516	308,742
その他	147,482	188,467
貸倒引当金	377	352
流動資産合計	8,759,933	8,925,056
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,676,625	1,724,332
その他(純額)	985,570	953,818
有形固定資産合計	2,662,196	2,678,151
無形固定資産		
投資その他の資産	41,510	30,995
投資有価証券	3,907,095	3,101,722
その他	1,359,242	1,279,399
貸倒引当金	2,839	3,091
投資その他の資産合計	5,263,498	4,378,030
固定資産合計	7,967,204	7,087,177
資産合計	16,727,137	16,012,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,744,190	2,326,223
短期借入金	300,000	-
1年内返済予定の長期借入金	32,000	26,000
未払法人税等	137,286	229,332
賞与引当金	70,246	139,616
役員賞与引当金	16,950	45,200
その他	329,281	283,935
流動負債合計	3,629,953	3,050,307
固定負債		
長期借入金	14,000	-
退職給付引当金	88,477	82,122
役員退職慰労引当金	227,393	209,407
資産除去債務	38,512	-
その他	153,314	133,664
固定負債合計	521,697	425,194
負債合計	4,151,651	3,475,501

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,721,281	1,721,281
利益剰余金	10,115,678	10,106,925
自己株式	488,365	488,313
株主資本合計	12,795,874	12,787,173
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	220,388	250,442
評価・換算差額等合計	220,388	250,442
純資産合計	12,575,486	12,536,731
負債純資産合計	16,727,137	16,012,233

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	9,632,355	10,753,066
売上原価	7,112,580	7,826,242
売上総利益	2,519,774	2,926,823
販売費及び一般管理費		
販売促進費	43,783	36,431
運賃及び荷造費	169,140	194,313
旅費及び交通費	101,197	115,416
報酬給与手当及び賞与	545,522	567,187
賞与引当金繰入額	38,068	37,669
役員賞与引当金繰入額	33,500	16,950
退職給付引当金繰入額	14,156	16,589
役員退職慰労引当金繰入額	17,590	17,985
福利厚生費	133,473	136,474
研究開発費	626,508	612,820
減価償却費	68,632	64,857
貸倒引当金繰入額	90	24
その他	330,446	361,565
販売費及び一般管理費合計	2,122,111	2,178,285
営業利益	397,663	748,538
営業外収益		
受取利息	3,165	1,950
有価証券利息	16,417	23,617
受取配当金	21,265	25,426
受取賃貸料	13,121	13,121
その他	10,370	7,531
営業外収益合計	64,340	71,648
営業外費用		
支払利息	1,610	1,558
売上割引	988	1,357
為替差損	10,907	29,066
コミットメントフィー	11,050	11,050
その他	1,600	1,541
営業外費用合計	26,157	44,574
経常利益	435,846	775,612

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,518	232
特別利益合計	1,518	232
特別損失		
固定資産売却損	10	135
固定資産除却損	2,154	3,029
減損損失	486	-
投資有価証券評価損	40,312	253,679
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	38,512
特別損失合計	42,964	295,357
税引前四半期純利益	394,400	480,487
法人税等	152,345	263,643
四半期純利益	242,055	216,843

【第3四半期会計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,436,906	3,481,046
売上原価	2,557,394	2,567,847
売上総利益	879,512	913,199
販売費及び一般管理費		
販売促進費	12,214	10,806
運賃及び荷造費	60,270	66,889
旅費及び交通費	35,755	38,134
報酬給与手当及び賞与	156,805	160,937
賞与引当金繰入額	38,068	37,669
役員賞与引当金繰入額	11,700	5,650
退職給付引当金繰入額	5,607	7,420
役員退職慰労引当金繰入額	6,167	5,995
福利厚生費	44,913	46,955
研究開発費	198,133	217,368
減価償却費	23,355	21,894
貸倒引当金繰入額	14	16
その他	99,850	111,322
販売費及び一般管理費合計	692,856	731,061
営業利益	186,656	182,137
営業外収益		
受取利息	310	197
有価証券利息	4,839	8,299
受取配当金	9,317	10,173
為替差益	5,827	-
その他	6,088	5,991
営業外収益合計	26,384	24,662
営業外費用		
支払利息	85	185
為替差損	-	6,797
コミットメントフィー	1,890	1,890
その他	873	1,035
営業外費用合計	2,848	9,907
経常利益	210,191	196,891

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	668	32
特別利益合計	668	32
特別損失		
固定資産売却損	10	-
固定資産除却損	786	1,227
投資有価証券評価損	40,301	41,037
特別損失合計	41,099	42,264
税引前四半期純利益	169,760	154,659
法人税等	72,655	67,146
四半期純利益	97,105	87,513

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	394,400	480,487
減価償却費	188,197	226,793
減損損失	486	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,072	228
賞与引当金の増減額(は減少)	10,359	69,369
役員賞与引当金の増減額(は減少)	33,500	28,250
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,307	6,355
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	17,590	17,985
受取利息及び受取配当金	40,995	51,117
支払利息	1,610	1,558
有価証券及び投資有価証券売却損益(は益)	-	103
為替差損益(は益)	4,535	16,803
有価証券及び投資有価証券評価損益(は益)	40,312	253,679
固定資産売却損益(は益)	10	135
有形固定資産除却損	427	1,734
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	38,512
売上債権の増減額(は増加)	912,184	244,953
たな卸資産の増減額(は増加)	89,278	221,867
仕入債務の増減額(は減少)	782,534	417,966
その他の流動資産の増減額(は増加)	21,082	44,444
その他の流動負債の増減額(は減少)	50,076	69,035
その他の固定資産の増減額(は増加)	86,417	124,637
その他の固定負債の増減額(は減少)	2,000	20,000
小計	568,704	854,966
利息及び配当金の受取額	43,613	47,935
利息の支払額	1,610	1,558
法人税等の支払額	42,865	348,870
法人税等の還付額	210,649	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	778,491	552,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	209,000	9,000
定期預金の払戻による収入	212,000	12,000
有価証券の取得による支出	289,540	1,068,287
有価証券の売却及び償還による収入	225,300	571,580
有形固定資産の取得による支出	97,454	181,840
有形固定資産の売却による収入	-	84
無形固定資産の取得による支出	8,565	28,903
無形固定資産の売却による収入	9	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	167,250	704,367

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650,000	700,000
短期借入金の返済による支出	350,000	400,000
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	24,250	30,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	10,436	29,322
自己株式の取得による支出	178	51
配当金の支払額	228,437	207,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,697	82,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,535	16,803
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	643,401	85,729
現金及び現金同等物の期首残高	3,033,613	3,738,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,677,015	3,652,593

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。